

YIC 利用案内

行政相談 (毎月 第3日曜日)

13:00-16:00(要予約)



ビザ(在留資格)の申請・変更、在留期間の更新、永住申請、国際結婚、国際離婚、日本国籍取得、帰化申請など行政手続きに関する相談。

2023年度 相談日 (行政相談)

2023年 5月21日(日) 6月18日(日) 7月16日(日)
8月20日(日) 9月17日(日) 10月15日(日)
11月19日(日) 12月17日(日)
2024年 1月21日(日) 2月18日(日) 3月17日(日)

賛助会員

YICの活動にご賛同いただける賛助会員を募集しております。是非ご入会頂き、多くのご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

◆年度会員制 ◆賛助会員特典あり

◆会費：個人一口 3,000円 団体一口 10,000円

生活相談

開館時はいつでも受付



生活で困っていること、日本文化で分からないこと、どこに相談すればいいか分からないこと...etc.YICスタッフがうかがいます。

翻訳

YICに登録するボランティアおよび職員が、日本語から外国語、または、外国語から日本語への翻訳をお手伝いします。

◆翻訳料:1枚(800字程度)につき 2,000円

☆翻訳ボランティアは随時募集中です。どの言語でも登録できます。

日本語サークル利用者数 (令和4年3月~令和5年2月)

活動実数	ボランティア先生106名	学習者 291名
授業延べ回数	3434回	
学習者地域別	アジア92.5%、南米2.4%、北米3.4%、EU1.0%、その他0.7%	
学習者在留資格別	就労関係56.8%、永・定住12.0%、家族滞在19.6%、配偶者8.9%、その他2.7%	
学習者年齢別	10代3.1%、20代43.4%、30代40.2%、40代10.3%、50代2.7% 60代0% 70代0.3%	

四日市市外国人人口数 (令和5年2月28日現在)

国籍	人数	割合	国籍	人数	割合
ブラジル	2,373	21.2%	その他	3,384	30.2%
ベトナム	1,724	15.4%	総合計	11,189	3.6%
韓国	1,319	11.8%	市総人口	309,051	
中国	1,294	11.6%			
ネパール	1,095	9.8%			
上位合計	7,805	69.8%			



よっかいちこくさいこうりゅう
四日市国際交流センター

Yokkaichi International Center

〒510-8601 三重県四日市市諏訪町1-5 四日市市役所北館5F

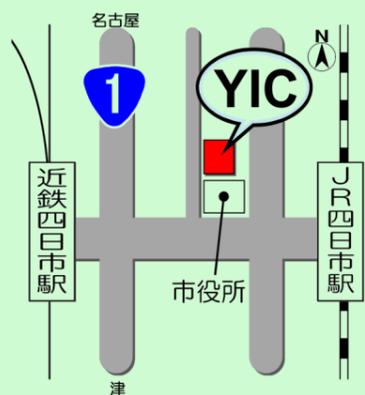
【TEL】059-353-9955 090-6572-9440

【FAX】059-355-5931

【E-mail】yic@yokkaichi-shinko.com

【URL】http://www.yokkaichi-shinko.com/yic/

【開館】9:00~17:00 (月曜日、祝祭日、年末年始は休館)



No.70/2023.4

発行
公益財団法人四日市市文化まちづくり財団
四日市国際交流センター
Yokkaichi International Center

令和4年度 YIC日本語サークル発表会

令和5年3月12日(日)「YIC日本語サークル発表会」を3年ぶりに対面で開催しました。8人の外国人学習者が、1年間の日本語学習の成果をスピーチや歌で発表しました。



【息子の幼稚園と私】



セルビアさん
(インドネシア)



緊張しましたが、楽しかったです。素晴らしい経験になりました。もっと頑張ろうと思います。

【Missing you~あなたに逢いたくて】



ヴァンさん
(ベトナム)



今日の発表会の雰囲気はとても良かったです。これからもっと勉強して話せるようになります。今年は歌！来年はスピーチで参加したいです。

【正月に出かけた北海道旅行】



燕さん
(中国)



みんなが反応してくれてうれしかったです。皆さんのコメントが良くて、発表の準備をしたかがありました。

【日本で一年くらいの経験】



リンさん
(ミャンマー)



いい経験、新しい経験ができました。緊張したけれど、勉強になりました。

【四年間の日本の旅】



パンさん
(タイ)



私は発表することが得意ではありません。しかし、今回の発表は大きなチャレンジとなりました。

【未来~小さな事で未来を変えることができます】



ハコさん
(インドネシア)



良かった！皆さんみたいになりたいと思います。皆さんのおかげで伝えたいことがうまく届きました。これからもっと頑張ります。

【教育】



ゲンさん
(ベトナム)



スッキリしました！今回、私が何のために発表会に参加したかという自分のためです。私の発表を皆さんに聞いていただくことが出来、嬉しかったです、楽しかったです。

【ありがとう~日本語の勉強について】



ハインさん
(ベトナム)



緊張して日本語で上手に発表出来なかったけれど、頑張りました。

YIC日本語サークル

四日市国際交流センターでは、日本語ボランティアと外国人学習者が日本語を学習する「YIC日本語サークル」を毎日開催しています。学習者のニーズに合わせてマンツーマンで学習しています。

私のボランティア活動 川口誠也さん (写真左: 燕さん)

私がボランティアを始めたきっかけは、もともと自分自身がYICで外国語を勉強していてそこにボランティアで日本語を教える人募集の告知があったので参加しました。スキルがないのに大丈夫かなと思いながら今日に至っています。現在、外国人旅行者に積極的に手助けしようとするようになった日本人ですが、外国人生活者に対しては冷淡な印象です。日本で生活した外国人のみなさんがもし母国に帰った時、日本での生活や日本人の対応をいい思い出として記憶に残してもらえよう、微力ながら貢献しようと考えています。



学習者エピソード

日本人の友だち 内田智子さん (写真右: ニッキーさん)



「日本人の友だちができない！」という外国人学習者が多い。『私の日本語が通じなかったら、相手に迷惑がかかる』とか『間違ったら恥ずかしい』などの理由で、日本人に話しかけられないと言う。「言葉はコミュニケーションの手段だから間違っても平気」「日本人でもよく間違えるから」と伝えてもやっぱりこの足を踏むみたい。「日本人からあなたに話しかけられたら、ビビらずに会話にチャレンジしてみよう！」「あなたに話しかけてきた外国人はもっとビビってるんだから！」。新しい世界が見えるかも。

異文化交流 山本正明さん (写真右: ゴックさん)

ベトナム南部出身のゴックさんは、市内で日本人のご主人と二人の息子さんと暮らしています。日本には訪日してから年数が長いので、日本語はとても上手ですが、日常生活するなかで、学校からの行事の案内や、地域の連絡事項など、文章に漢字が多くわかりにくいとの事でした。なるべく「やさしい日本語」に置き換えて教えています。日本とベトナムとの文化の違いなどを確認しながら、習慣や学校の行事なども話しています。ある時「来年はうさぎ年ですね」と彼女に尋ねたら「先生、来年はねこ年です」「えーえ。今年虎年で、また猫っておかしくない？」と言ってしまいました。ベトナムでは、うさぎ年は無く、猫です。ちなみに、牛は水牛、猪は豚、羊は山羊だそうです。勉強になりました。(笑)



新たな発見 堤重則さん (写真右: ポムさん)

日本語学習者ポム君とは丁度一年が過ぎようとしています。日頃の彼は、とてもシャイな好青年です。私にとって、彼の日本語学習への取り組み姿勢に接することは毎回が楽しみな時間となっています。ある日、自動車について会話する中で、彼がとても「車好き」であることを発見しました。彼は母国タイの自動車生産はトヨタが最大であること、ガソリン車・HV車、そして最近のEV車についての特徴などに詳しく、さらにスバル車のエンジンの特徴や機能性まで知識が深く、好きな車へのこだわりまで話が弾みました。その時、思わず自分が今の彼と同じ年代でマイカーを手にした記憶がよみがえりました。タイでの車事情は、現在5.9人に1台(全体1120万台)を所有。自動車先進国と言われる米・独・日などが2人に1台を考えると今後10年程度で2~3人に1台所有へと倍増することは考えられます。マイカー時代が来ているようです。(記載の車台数には貨物車は入れていない)



学習者紹介

- ①なまえ
- ②国名
- ③日本に来ておどろいたこと
- ④日本語で好きな言葉



- ①アミリタ
- ②ネパール
- ③台風が怖かった。ネパールにはないため。
- ④「ありがとう」



- ①アナ ②スペイン
- ③自転車が多いです。スペインでは自転車に乗る人が少ないです。日本では歩道を歩く時いつも後ろに気をつけなきゃいけないです。
- ④「ふわふわ」(発音が大好き)



- ①キャサリン
- ②アメリカ
- ③夏はとても暑い。
- ④「しょうがない」(よく使う)



- ①セバスチャン
- ②アメリカ
- ③日本のコンビニは本当に便利です。支払いや印刷などができる。
- ④「そうなんだ」(発音が好きで、便利な言葉)



- ①ジョンコ
- ②フィリピン
- ③温泉とサウナがある。時間の制限がないし安い。きれいで気持ちがいい。
- ④「宝」(人も物も大切)



- ①バシンド
- ②スリランカ
- ③飛行機の窓から富士山を見たこと。日本人はとても親切。コンビニがある。
- ④「おねがいします」(仕事のときによく使う)



- ①ロ ②台湾
- ③女性トイレにベビーチェアがあること。すごく便利です。
- ④「いただきます」「ご馳走様でした」(料理を作ってくれた方に感謝の気持ちがよく伝わる)



- ①リフキ
- ②インドネシア
- ③スイカの値段が大変高いこと。
- ④「ちょっと」「やばい」(たくさんの意味を持つ言葉)



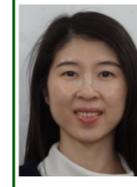
- ①リタ ②インドネシア
- ③ゴミを捨てる事。日本ではゴミを種類ごとに分別する必要がある(ボトルやキャップなど)
- ④「よろしくおねがいします」(仕事の前にいつも言うので仕事が頑張れます)



- ①ウィン
- ②ミャンマー
- ③日本の道路は渋滞がない。歩行者や自転車の優先が守られている。
- ④「きれい」(言葉の響き心地がよい)



- ①ギリ
- ②ネパール
- ③日本人は速く仕事をします。
- ④「ありがとうございます」



- ①ヤン ②中国
- ③中国では相手に聞き返すとき「ああ？」と言うけれど、日本では「ええ？」と言うこと。舌打ちはダメ。
- ④「つつる・どきどき・どんどん・ばらばら・ぎりぎり」(聞いていておもしろいからしゃべりやすい)



- ①カカ
- ②中国
- ③一戸建てが多い。なぜかという中国はマンションの方が多い。
- ④「花より団子」(団子が好きです)



- ①ジョイ
- ②フィリピン
- ③雪が大好きです。でも寒いのは嫌いです。
- ④「めんどうくさい」「おもしろい」「よろしくおねがいします」



- ①ロアン ②ベトナム
- ③日本の生活は静かです。景色がきれい、おいしい食べ物が多い(お好み焼き、カレー、タコ焼き)
- ④「おかえり」(心があたたかくなる)



- ①アイ
- ②ベトナム
- ③交通網が発達していること。
- ④「臨機応変」(生活と仕事に活用できる。自分に役立つ言葉だからです)



- ①クオン ②韓国
- ③私が働くカフェのお客様はみんなやさしいです。
- ④「ごろごろ」(発音がかわいいです)



- ①ティック ②タイ
- ③どこへ行ってもきれいです。そして交通がとても便利です。
- ④「がんばったら、なにもむだにならない」(この言葉で励ましてもらおうとあきらめずにがんばれます)



- ①テー
- ②タイ
- ③はじめて雪を見てびっくりした。
- ④「おはようございます」(気持ちがよくなる言葉だから)

令和4年度 イベント

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により前半はオンライン、後半は対面によりイベントを開催しました。人気イベントの「コーヒーブレイク」「国際理解講座」を紹介いたします。新年度はコロナ禍により出来なかった様々なイベントを計画していきます。皆さんの継続的なご支援とご協力をお願いします。

【コーヒーブレイク】ウクライナ

2022年4月10日 参加者52名



令和4年度第1回目のコーヒーブレイクは、ロシアの侵攻を受けるウクライナの文化や伝統を知ってもらうため、ウクライナ北東部のスムイ出身のポノマリョヴァ・アンナさんを講師に迎え、オンラインで開催しました。民族衣装「ヴィシヴァンカ」風の刺繍があしらわれたワンピースを着たアンナさんが、スムイの季節の伝統行事・結婚式・屋外市場や家族の様子などを写真を交えて紹介。また、かつてウクライナはソ連の一部で、独立後も度々ロシアと紛争があった歴史などにも触れました。独立後も続くロシアとウクライナの紛争について悲痛な叫びを訴えました。

- (参加者からの感想) ●細やかな生活習慣や食・衣などについて詳しく説明され情報の少ないウクライナについて多くのことを知りえました。
●テレビで悲惨な状況を目にしない日はないですが、もともと平和で自然にみちた国であったことがシェアできました

【国際理解講座】ベトナム

2022年5月29日 参加者30名

日本語サークル学習者のチュンさん・フォンさんを講師に迎え、二人の故郷であるベトナムについてお話ししていただきました。チュンさんは、フォーの生地であるホーチミンの食文化を紹介。フォンさんは、ベトナム北部にある「ハロン湾」や古い街並みが残る中部の都市「ホイアン」などおすすめの観光地を紹介していただきました。



- (参加者からの感想) ●お二人の流ちょうな日本語で、若者の多い国「ベトナム」に関心をもちました。
●これまでベトナム戦争ぐらいしか知りませんでしたが、魅力的な観光地や美味しそうな料理を知ることができました。

【国際理解講座】ブラジル・ポルトアレグレ

2022年8月28日 参加者22名



7年ぶりに故郷のブラジル・ポルトアレグレ市に一時帰国した当センター外国語講座・ポルトガル語講師の宮西マリアさんを講師に迎え、ヨーロッパからの移民が多く住む同市や周辺地域についてお話ししていただきました。同市の位置・人口・気候・歴史・風景・食文化、民俗、日本との関係などを写真を活用して、ユーモアも交えて楽しく解説していただきました。

【三浜アートまつり】国際交流ブース

2022年11月13日 参加者100名

三浜文化会館で開催された「三浜アートまつり」に国際交流センターのブースを出展しました。四日市市に多く住む外国人の故郷の「パネル紹介」とそこからの「クイズコーナー」、こにゅうどうくんや国旗の「フェイスペイント」、ウクライナカラーなどの「ロゼット作り」「ペットボトル輪投げ」「韓国・台湾の遊び」などを行いました。大勢の参加者が会場を訪れ、アートを通じて外国人との交流を深めることができました。



【国際理解講座】台湾

2022年11月27日

参加者41名

ラウンジ展示『2022台湾文化展』に併せて国際理解講座「台湾」を実施しました。講師は、日本語サークルで10年以上日本語学習をしている許 恵敏さん。参加者の多くが何度も台湾を訪れている人だったため、ガイドブックに載っているような話ではなく、台湾の先住民族から日本統治時代の台湾や台湾産の「湾生」などをお話ししていただきました。また、2023年1月18日・2月1日に「台湾料理教室」を企画し、台湾やきそば・小籠包・タピオカミルクティーを作りました。

(参加者からの感想)

- 統治という悲しい時代があったにもかかわらず、親日家が多いことを嬉しく思いました。
- 台湾のことに深く知ることが出来ました。コロナが落ち着いたら、台湾に訪問したいです。



【コーヒーブレイク】オーストラリア

2023年2月26日 参加者25名



オーストラリア出身で三重県国際交流員であるニカンダー・ケインさんを講師に迎え、シドニーのオペラハウス・ウルル・グレートバリアリーフのサンゴ礁や講師の出身地であるバッセルトンの観光スポットや見どころなどを解説していただきました。

(参加者からの感想)

- オールイングリッシュのイベントに初めて参加しましたが、資料や英語もわかりやすく理解できました。

外国語講座



令和4年度の外国語講座は、3期に分けて英語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・中国語の講座を行い、のべ184名が受講しました。令和5年度もネイティブ・ティチャーと交流しながら外国語やその国の文化を楽しく学べる講座を開講します。

『ポルトガル語講座』 担当：中村エステル先生



みなさん、はじめまして！中村エステルです。ポルトガル語講座を担当することとなりました。宜しくお願いします。私は日本で生まれ、ずっと四日市市で暮らしています。四日市市に住んでいる人なら必ずどこかでブラジル人を見かけたことはありますよね。皆さんの中でブラジル人と友だちになりたいけどポルトガル語が話せないから諦めちゃう人もいるかと思います。せっかく多数の文化に囲まれているのに、言語の壁のせいで交流ができないのはもったいないと思います。グローバル化が進む中で、外国人と交流をし異文化理解を深める事はとても大切だと思います。私は皆さんに少しでも多くブラジルの文化やポルトガル語に触れて、日本人とブラジル人の交流を増やしていけたらいいと思います。アルファベットや発音方法の基礎から日常生活で使えるあいさつなど本当に初心者向けの講座になりますので、少しでも学習がしたい方はぜひおすすめします。文法だけではなく、おもしろいアクティビティも取り入れたいと思っていますので、興味のある方は一緒に楽しくお勉強しましょう！

YICのラウンジ壁面を利用して、プチ展示会を行いました。令和4年度は、外国人の故郷である「ベトナム」「タイ」「台湾」を紹介するとともに「エッグアート」「シンボルマーク」などの作品を月替わりで展示しました。

ラウンジ展示



ベトナム展

タイ展

台湾展

エッグアート

YICボランティア エッセイ

四日市国際交流センターで長年ボランティア活動をされている方に、外国人との交流に関するエッセイをご寄稿いただきました。

ラーメン一杯分のグッドウイール

荒木和美さん

かつて「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と持ち上げられていたころの面影は、今の日本にない。一人あたりのGDPは世界で27番目。なのに外国人学習者の皆さんはなぜ日本なのか？

さて、私がYIC日本語サークルにデビューしたのは8年前の9月。最初に担当したのは、中学校の外国語指導助手をしていたベトナム系アメリカ人のヴィクター。夏場の学習中に“こっくり”しては、洗面所で顔を洗っていたことを思い出す。2年後の7月にカリフォルニアへ帰ってしまったが、今も季節の便りが届く。彼とはよくラーメンを啜ったものだ。2020年のコロナ騒動で急遽帰国してしまったノルウェーの少年マッス。彼は、実に清々しい交換留学生の高校2年生だったが、今頃は大学生。アメリカのコロンビア大学へ行きたいと言っていたが、音信は無い。昨年ベトナムに帰ってしまったゴックさん。初めのうちは話が理解できなくても気持ちよく笑顔で返してくれていた心優しい女性だった。故郷に帰るころにはしっかり会話が成り立っていた。

現在、受け持っている学習者の一人目は、フィリピン出身で英語の指導助手をしている自称イケメンのジェフ。とても明るく愉快な人物だ。YICの外国語講座で英会話の講師も務めている。もう一人は、中国からの才女・趙さん。半導体メーカーで働く彼女の集中力は半端じゃない。間違いなくN1の実力がある。「理系の人は語学に向かない」と誰が言ったのか？

私はここで紹介した全員が好きである。またみんなとラーメンをやりたい。なぜかって？ラーメン一杯でグッドウイール。



趙さん(左)



ジェフさん(左)

私にとっての異文化

渡辺伸人さん

私がYICで活動を始めさせていただいたのは、趣味の合わない妻と私が、何か一緒に出来ることは無いか

と考え、辿り着いたのがボランティアでのお仕事でした。そして、それまでの私にとっての異文化とは間違いなく「アメリカ文化」だったと言えます。

子供のころに興奮した、カ道山とブラッシー、テストロイヤーの戦い、よく観ていた「名犬ラッシー」や「パパ大好き」の憧れの生活スタイル、生意気盛りに夢になったプレスリー、ビーチボーイズ、勿論ビートルズも・・・成人するとJ.ニクラス、A.パーマーのゴルフ番組、そしてニューヨーク、ロサンゼルスなどの大都会に憧れていました。

しかしこの何年間か、ボランティアを通じて知り合う外国人は、その殆どがアジアからの人々です。私の知らなかった世界の文化に、触れれば触れるほど興味がわいてきました。もっと早く意識を持ち、アジア各国の歴史・文化を知っておけばよかったと残念に思っています。

エコノミック・アニマルと呼ばれ元気のよかった時代と違い、威勢がそがれてきた今の日本にでも来て下さる実習生の方がたくさんいらっしゃいます。もし私が若き時代に憧れたアメリカ文化と同じような気持ちで日本を見、訪日を決意して下さったとしたら・・・私のできることは「何でもお手伝いさせていただきます」と老体の胸が騒ぐ今日この頃です。



リバスさん(左上) ジャンさん(左下) 知子夫人(右下)

私の国際交流活動

東 優子さん

「私は今国際交流センターで日本語の勉強をしているの」と、昔、英会話のアメリカ人の講師が笑顔で言いました。彼女が楽しそうに話す「日本語の秘密」は何？それがYICの活動について知ることになったきっかけになりました。

それから、12年もの間、10人以上の学習者さんと、日本語ボランティアの活動を続けることになろうとは…。ひとえにYICのスタッフの方々、そして学習者さん達の「学びたい」という気持ちに背中を押され続けてきたからだと思います。たくさんの学習者さん達との出会いは、それぞれのお国の事情や皆さんのパーソナリティ、そしてそれぞれの御家族に関する事など、思った以上に皆さんお一人お一人の距離を縮めていく作業にもなりました。

現在はベトナム人の女性と学習を開始したばかりです。彼女は接客業をしていて毎日リアルな日本語に向き合っています。今は「聞く」「話す」に重点をおき「読む」「書く」にも段階的に進んでいく事を目標にしています。

チュックさん(左)



四日市・ロングビーチ姉妹都市提携60周年

四日市市は、カリフォルニア州ロングビーチ市と1963年10月7日に姉妹都市提携を結び、教育、文化、スポーツ、環境、医療など幅広い分野で交流を重ね、今年、60周年を迎えます。

◆ロングビーチ市って？

(人口：約45万人 面積：131.3km²)

ロサンゼルス市の南に位置し、長さ9kmの砂浜などウォーターフロント立地を生かした美しい街並みを持つ観光都市。過去には油田が発見され、石油精製などの工業都市としても発展し、その後、航空機製造業などが代表的な産業となり、今では全米で有数のコンテナ取扱量を誇る港湾都市としても躍進しています。

◆なぜロングビーチ市と？

両市は、人口規模がほぼ同じで、港を中心に、石油化学産業などが集積してきた工業都市で、ロングビーチ市の周囲に県内北勢地域出身者が多く移住しているなどの点で親しみが有り、提携に至りました。

◆どのような交流を？

① トリオ事業(交換学生・教師の相互派遣)

1965年から隔年相互に高校生2人と教師1人を夏季に約3週間派遣し、一般家庭でホームステイ、学校訪問などの市民交流を行っています。ここ数年は、コロナ禍の影響で相互訪問を休止していましたが、今夏、ロングビーチへの派遣が再開される予定です。

② 英語指導員(Yokkaichi English Fellows) 招請事業

1986年から毎年、ロングビーチ市から指導員を招請し、市内中学校での英語指導をはじめ、小学校や幼稚園で国際理解教育を推進しています。

③ 地球環境塾

2008年から毎年、夏季に約1週間、姉妹・友好都市(中国 天津市)から学生を招いて、四日市の学生とともに環境をテーマに意見交換し、相互理解を深めています。

※なお、コロナ禍の影響を受け、上記の①③の学生交流は、この数年間、直接の訪問や受け入れを休止していましたが、その間もオンライン交流は行ってきました。



これらの他にも医療分野など広範な交流を積み重ねながら、節目の周年記念事業として、公式代表団の相互訪問や市民訪米団の派遣なども行ってきました。

◆60周年記念事業

ここでは、60周年記念事業の一部を紹介します。

昨年、四日市市は両市の友情のシンボルとなるロゴマークを公募。全国から寄せられた550件の中から選ばれたロゴマーク(写真)は、上半分はロングビーチ市のシンボルである、かつての豪華客船クイーン・メリー号や市名の由来となった長い砂浜、下半分は四日市市のコンビナート夜景、中央に無限(∞)マークをかけることで、両市の変わらぬ友情を表現しています。



今後は、両市の市長等で構成される公式代表団の相互訪問や、市内の、ロングビーチ公園(霞ヶ浦緑地内)にロングビーチ市をイメージするコンビネーション遊具の設置を予定しています。

「四日市市国際交流基金」へのご寄付のお願い

「四日市市国際交流基金」は、四日市市の国際性と市民の皆様への国際感覚を高めることを目的とし、姉妹都市・米国ロングビーチ市や友好都市・中国天津市との青少年の交流事業などに活用しています。基金の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願いします。

【問い合わせ】四日市市秘書国際課

☎059-354-8097

